

子どもを取り巻く環境・認知症予防と地域支援事業・消防活動について

公明党 武者 葉子

「八重の桜」に関する観光振興・骨髄バンク事業推進について

民声クラブ 佐藤 貴雄

放射能対策・自然エネルギー導入への取り組みについて

日本共産党安中市議団 櫻井 ひろ江

家庭での虐待・育児放棄などについて

問 子どもの関係する事件が多発していますが、市内の状況、対応を伺います。

答 相談は六十三件で虐待の相談は十九件でした。家庭児童相談室で相談を受け、関係機関との協議、情報交換を行い対応しています。

問 子育て支援センターや子育てサロンに専門相談員を派遣し、気軽に相談できるよう提案しますが、見解を伺います。

答 大変大事な事なので庁内協議を進めます。

問 学校でのいじめや体罰について

問 市内の状況と対応を伺います。
答 小学校で六件、中学校で四件のいじめが報告されましたが、解消済みです。アンケート調査で体罰の疑われる事案があり、調査中です。全教職員が根絶への認識を徹底

し、教育にあたります。**給食事故防止策について**

問 市内の小学生が給食が原因のアレルギーで亡くなりました。市での対応を伺います。

答 アレルギー対応をとる生徒は七十名で、詳細な成分表を送付し、家庭と連携して除去食、代替食又は弁当持参などの対応をとっています。

問 聴覚検査について
問 認知症予防対策として、聴覚検査実施への考えを伺います。
答 総合的に検討します。他、二項目質問しました。



学校給食

「八重の桜」に関する観光振興について

問 安中市観光ボランティアガイドの会の現状とお越しになったお客様の感想等を伺います。

答 ガイドは予約も多く増員を計画しています。商店の日曜休業や土産店不足の要望があり、ガイドの会が「お買い物サービスクーポン」を発行しました。

問 本市とドラマの舞台である会津や京都との連携を伺います。
答 商工会が敷地内に設置する施設で会津商品販売をお願ひしていきます。同志社大学からは「新島襄・八重子展」の資料提供をいただきました。

問 施設整備を伺います。
答 新島襄旧宅付近の駐車場整備を行い、街なかの公衆トイレ建設は早い完成を目指します。

問 骨髄バンク事業について
問 市の取組とドナー登録・提供者数を伺います。
答 広報をしています。

市の登録者数等は不明ですが、県では一月末で登録者数四千九十七名、提供者数は百五十七名です。

問 ドナー支援として助成制度の先例を伺います。

答 新潟県加茂市をはじめ県外では例があります。**問** 私の経験からも休業支援やドナー負担軽減のため、助成制度は必要です。市の取組を伺います。

答 本市での導入は今後の広がりをみていきます。**問** 骨髄ドナー助成制度について市長に伺います。
答 市長会等でも十分協議をしています。



安中教会礼拝堂

「除染計画」について

問 当市は汚染状況重点調査地域の指定を受けましたが、「除染計画」は作らないのですか。

答 現在のところ国の定めた除染の必要な区域はありません。**問** 若いお母さんたちが子どもの内部被ばくを心配しています。通学路、公園、遊び場等の除染をどう考えますか。

答 施設管理者との協議や空間放射線量の測定結果による影響を考慮し、総合的に判断します。**問** 放射線量を早く減らしていくために、市の「独自の除染計画」を作り市民の不安をなくしていくべきではありませんか。

答 施設管理者から除染の希望があれば実施することになっています。**「原発事故子ども・被災者支援法」への対応について**
問 昨年六月に国会で成立した法律です。福島県

等への対応が第一だと思いますが、低線量の健康への影響ははっきりしておらず、子どもへのもの時の対応が必要ではないでしょうか。

答 放射線が人に及ぼす危険性については十分に解明されていません。慎重に見守っていきます。

問 汚染状況重点調査地域が対象地域に入れるよう、国や県に働きかけることについて伺います。
答 働きかけをします。

他に、ミニホットスポットへの対応と小水力発電について質問しました。



汚染土の処分状況